

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 22,200~23,000円 TOPIX 1,680~1,730
- * 期待材料 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善
- * 不安材料 貿易摩擦激化 地政学的リスク 中国経済の成長鈍化

先週は米 S&P500 が一時最高値を更新した。2Q の企業決算が好調に推移しており、18 年通期の S&P500 の予想一株利益は 22 日時点で 161.5、19 年は 178.2 と見込まれており、業績好調を織り込む展開になっている。また、米アトランタ連銀が発表している GDPNow によると 7-9 月期の米実質 GDP 成長率は前期比年率 4.3%増と推計されており、4.1%成長となった 4-6 月期を上回る力強い景気拡大が見込まれている。加えて、米中貿易協議の進展期待や FRB の金利引き上げ打ち止め観測も追い風になっており、米国株は今後も堅調な推移になることが期待される。一方、日本株は足元やや軟調な展開になっている。過去 10 年間における日経平均株価の月別パフォーマンスを集計したところ、8 月は月間で 2.7%下落(月間騰落率の平均値は 0.6%上昇)し、12 カ月中一番株価が下がりやすく、今年も一時 3.9%安までであった。9 月も 0.8%下落とパフォーマンスは良くないが、10 月は 0.2%上昇、11 月は 2.7%上昇、12 月は 3.5%上昇と、年後半は上昇しやすい季節性がある。日本企業の 4-6 月期決算は概ね良好に推移しているにも関わらず、日経平均株価の 18 年度予想 PER は 12.9 倍とアベノミクス相場開始以降で下限に近く、米 S&P500 の予想 PER17.7 倍に大きく後れを取っている。企業業績の堅調さに比べて、株価は投資指標面から割安な水準に抑えられており、日経平均株価は株価の上がりやすい年後半に向けて、水準訂正を期待する展開になるものと思われる。

(8月23日現在、松本 直志)

今週の予定

	国内	海外
8/27 (月)	自動運転タクシーサービスの公道営業実証実験(～9/8)	[独]8月 IFO 企業景況感指数(17:00) [英]休場
28(火)	「セルロースナノファイバー関連施策と自動車素材への活用展望」セミナー エネルギーイノベーションジャパン 2018(～29日)	[米]6月 S&P コアロジック CS 住宅価格指数(22:00) [米]8月消費者信頼感指数(23:00) [米]連邦議会予備選挙(アリゾナ、フロリダ)
29(水)	鈴木日銀審議委員 沖縄県金融経済懇談会における挨拶 横須賀市「ポケモン GO」イベント(～9/2)	[米]4-6月期 GDP 改定値(21:30) [台]Display Taiwan 2018(～31日) [伊]ヴェネチア国際映画祭(～9/8)
30(木)	パーク 24(4666) 3Q 決算 アイン HD(9627) 1Q 決算	[米]7月 PCE コア(21:30) [独]ソニー(6758) プレスカンファレンス開催
31(金)	7月失業率(8:30) 8月東京 CPI(8:30) 7月鉱工業生産(8:50) 日経 IR・投資フェア 2018(～9/1) MSCI 指数、JPX 日経インデックス 400、JPX 日経中小型指数が銘柄入れ替え実施	[韓]中銀政策金利 [中]8月製造業 PMI(10:00) [中]8月非製造業 PMI(10:00) [欧]8月消費者物価指数(18:00) [タイ]バンコク日本博 2018(～9/2) [独]欧州最大の家電見本市「IFA」(～9/5)
9/1(土)	和漢医薬学会学術大会(～2日)	[韓]通常国会開会
2(日)	自民党竹下派 研修会(～3日)	[中]China International Beauty Expo(～4日)

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきます。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

コスモス薬品 (3349)

東証1部



	17年5月期		18年5月期		19年5月期(予)		株価(8/23)	24,010 円
	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	(百万円)	前年比	業種	小売業
売上高	502,732	12.4%	557,999	11.0%	610,000	9.3%	売買単位	100 株
営業利益	22,237	19.2%	22,749	2.3%	23,000	1.1%	PER(予想)	26.9 倍
税引前利益	24,591	18.8%	25,255	2.7%	25,500	1.0%	PBR(実績)	4.4 倍
最終利益	18,215	46.5%	17,633	-3.2%	17,650	0.1%	ROE(実績)	17.5 %
EPS(円)	920.0		890.6		891.4		配当利回り(予想)	0.4 %
配当金(円)	80.0		90.0		90.0		担当	多功 毅

出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

大手ドラッグストアチェーン。18年5月末のエリア別店舗数は九州528店、中国150店、四国106店、関西109店、中部19店の計912店。九州を地盤に出店エリアを西日本エリアへと拡大させており、将来的には全国展開を目指している。18年5月期における商品毎の売上高構成比は、医薬品15.4%、化粧品10.3%、雑貨16.8%、一般食品56.2%、その他1.3%と、ドラッグストア業界の中でも食品の売上構成比が高いのが特徴。特定地域内に集中出店することで実現できる運送や人員配置、広告宣伝の効率化と、1人が何役もこなす仕組みの構築などで販売管理費を徹底的に抑制する事で低価格を実現させ、出店地域内のドラッグストアだけではなく、食品スーパーやコンビニ、ディスカウントストアからも顧客を獲得している。

18年5月期決算については、人件費等のコスト上昇を売上増で補う計画であったが、他社による赤字覚悟の値引き販売やポイント乱発への対応が遅れたことで既存店が伸び悩み、上期の業績は苦戦。下期に入り、創業者の宇野会長が再度経営の最前線に復帰するとともに、EDLP戦略の推進と仕入れ条件の改善を通じたさらなる売価引き下げで、集客力を一段と高めつつ、化粧品等の高採算・高機能商品の接客販売を強化したことが奏功し、4Qの業績がV字回復したことで通期では2.3%営業増益での着地となった。19年5月期は既存店売上高を前年比1.5%増、出店については関西、中部を中心に純増を図りつつ、今期より初の関東地区への出店も計画し、9.3%増収、1.1%営業増益を計画している。今期の業績予想は保守的計画と思われ、期中の利益増額が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(8/23) 売買単位	コメント
アドベンチャー (6030) 東証マザーズ 8,300円 100株	18年6月期決算はM&Aによる上乘せもあり売上は前年同期比2.9倍、29.5%営業増益。アドベンチャーの航空券など旅行事業のキャンセル後取扱高は、前年同期比89.0%増の712億円に拡大。広告宣伝費は61.5億円を使用。利益よりも成長を優先し、計画並みの利益を確保できる分だけ広告費を投入した。今期計画は非開示だが、大幅な増収、増益が目標。連結取扱高は前年同期比28.4%増の1,000億円以上を目標とし、広告費は最低75億円使う方針。(松本 直志)
堀場製作所 (6856) 東証1部 6,950円 100株	上期決算は前年同期比14.5%増収、44.9%営業増益。売上、利益ともに過去最高ながら、自動車と半導体が下ブレし会社計画未達。半導体の減額で通期計画も下方修正。半導体は2Qに入り得意のNAND向け投資が減速したが、年末に向けて投資回復を期待。自動車は日本・アジアを中心とした排ガス規制強化や、電動化・自動運転技術開発の加速により、自動車関連メーカーの投資意欲は旺盛。次世代自動車開発に向けた投資需要増大に合わせて、車両試験システム、電動車用バッテリー評価試験設備など関連事業の強化を進める方針。(松本 直志)
レーザーテック (6920) 東証1部 3,975円 100株	18年6月期決算は、半導体マスク欠陥検査装置が好調に推移し前年同期比23.0%増収、16.0%営業増益、受注は69.4%増。受注はEUV向けマスクブランク検査装置が1台成約したことや、半導体マスク検査装置が好調で計画上振れ。メモリの投資は一巡も、比重の大きいロジック向けマスク市場は、EUVなど微細化投資の活況が継続。今期は前年同期比31.7%、14.3%営業増益計画。受注は前年同期比13.7%減の計画だが、高い水準での推移が続く見込み。(松本 直志)
いすゞ (7202) 東証1部 1,625.0円 100株	1Q決算は、値引き販売の抑制、海外トラック需要やタイにおけるピックアップトラック需要の回復が貢献し前年同期比5.2%増収、32.4%営業増益での着地。1Q実績は、海外のトラック及びタイのピックアップの拡販に加えて、一部コストの2Q以降への期ズレもあり社内計画に対して上ブレ着地としている。2Q以降についてはコストの期ズレが発生する見込みであり、また、海外市場の先行き不透明感を踏まえて通期計画は据え置いているが、保守的計画と思われる。(多功 毅)
ホンダ (7267) 東証1部 3,318円 100株	1Q決算は、メキシコ工場における水害や円高による影響があったものの、北米での四輪車や収益性の高いアジアでの二輪車の拡販効果、さらにコストダウン効果も寄与することで前年同期比8.4%増収、11.2%営業増益で着地。通期計画について、メキシコの水害や原材料価格の上昇を織り込む一方、為替見通しを1ドル105円から107円へと見直したことやコストダウン効果の積み増しを見込み、営業利益を100億円増額修正。(多功 毅)
スズキ (7269) 東証1部 7,274円 100株	1Q決算は、インドや日本での四輪車の台数増、さらに日本での車種構成の改善効果が大きく寄与し、前年同期比13.6%増収、36.9%営業増益で着地。1Q営業利益の通期計画に対する進捗率は34.3%と高水準。インドについては今後も現在の強い状況が継続するとしており、需要拡大に備えて来年1月にはグジャラート工場第二ラインが稼働を開始し、来夏には二勤体制に移行予定と、供給能力拡充も着実。新型ジムニーも受注好調で、今後の車種構成改善要因に寄与。(多功 毅)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巣鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巣鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号

加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室